

実験レポートの注意点 ～箇条書き～

CREATED BY INAGE KEI, 2020.06

箇条書き

- ▶ 実験レポートでは、「箇条書き」を使う場面がある。
- ▶ 特に、実験方法は「過去形」で「箇条書き」で書きなさいと言われる。
- ▶ なんとなく、それ（箇条書き）っぽくなっていればいい？
- ▶ 箇条書きで気をつけなければいけないことって何？

箇条書きのルール

- ▶ そもそも、「箇条書き」ってどんな書き方？どんなルールがある？
- ▶ いくつかの項目をひとつひとつ分けて書き並べる。
- ▶ 項目は「単語」であったり、「文」であったりする。
- ▶ 句読点（特に最後の句点）は名詞を並べる場合には付けないことが多い。
- ▶ 句読点（特に最後の句点）は文章の体をなしている場合は付けることが多い。
- ▶ 行頭記号（この箇条書きでは▶）を付けて、「箇条書き」を強調する事が多い
- ▶ 記号ではなく、数字やローマ字を用いると、総数や順番を明確化したり、引用しやすくなる。

箇条書きと番号付き箇条書き

- ▶ 箇条書きは並べる項目の性質に合わせて、「行頭記号」を適切に使う
- ▶ 箇条書きは、次の2つに分類
 - ▶ 並べる順番に意味がないもの（順番が入れ替わっても問題無いもの）
 - ▶ 例：持ち物リスト、買い物リスト（買う順番リストではない）
 - ▶ どの順番で書かれていても、問題はない
 - ▶ 並べる順番に意味があるもの
 - ▶ 例：手順リスト
 - ▶ 行動の手順などが入れ替わると、支障をきたす

レポートの場合、どちらも使う可能性がある。

書くときに、どちらに該当するのかよく考える。

行頭記号の取り扱い

- ▶ 「並べる順番に意味を求めない」箇条書き
 - ▶ 「●」などの記号を使用することが多い。
 - ▶ 項目ごとに記号は変更しない（同じ記号を用いる）。
- ▶ 「並べる順番に意味がある」箇条書き
 - ▶ 数字、ローマ数字、アルファベットなどを使用。
 - ▶ 章番号、式番号などと区別できるように注意する必要がある（引用時に困らないようにする）。

推奨しない例：

章番号と紛らわしい

1. あいうえお
2. かきくけこ
3. さしすせそ

式番号と紛らわしい

- (1) あいうえお
- (2) かきくけこ
- (3) さしすせそ

文献番号と紛らわしい

- [1] あいうえお
- [2] かきくけこ
- [3] さしすせそ

箇条書きの体裁

▶ 箇条書きで「整えるべき体裁」

- A) 箇条書きは行頭の位置を揃える。
- B) 2行目以降は1文字ぶら下げにする（1行目と2行目以降の開始位置を揃える）。
- C) リストとリストの間に設けるスペースは、改行があるリストの行間よりも広くとる。
- D) （行頭に句読点などが来ないようにする）禁則処理をする

この位置が揃っている

箇条書きの体裁

▶ 箇条書きで「整えるべき体裁」

1行目開始位置

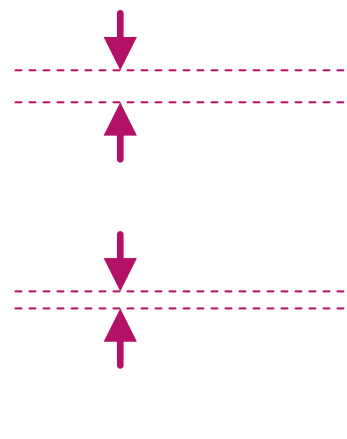
- A) 箇条書きは行頭の位置を揃える。
- B) 2行目以降は1文字ぶら下げにする（1行目と2行目以降の開始位置を揃える）。
- C) リストとリストの間に設けるスペースは、改行があるリストの行間よりも広くとる。
- D) （行頭に句読点などが来ないようにする）禁則処理をする

2行目開始位置が1行目開始位置と同じ位置

箇条書きの体裁

▶ 箇条書きで「整えるべき体裁」

リスト間のスペースの方が広い

- 
- The diagram consists of four pairs of horizontal dashed lines. The first pair has a downward arrow on the left, indicating alignment. The second pair has an upward arrow on the left, indicating alignment. The third pair has a downward arrow on the left, indicating alignment. The fourth pair has an upward arrow on the left, indicating alignment.
- A) 箇条書きは行頭の位置を揃える。
 - B) 2行目以降は1文字ぶら下げにする（1行目と2行目以降の開始位置を揃える）。
 - C) リストとリストの間に設けるスペースは、改行があるリストの行間よりも広くとる。
 - D) （行頭に句読点などが来ないようにする）禁則処理をする

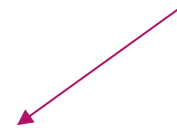
箇条書きの体裁

▶ 箇条書きで「整えるべき体裁」

- A) 箇条書きは行頭の位置を揃える。
- B) 2行目以降は1文字ぶら下げにする（1行目と2行目以降の開始位置を揃える）。
- C) リストとリストの間に設けるスペースは、改行があるリストの行間、よりも広くとる。
- D) （行頭に句読点などが来ないようにする）禁則処理をする

折り返し位置

読点（、）が行頭に来ないようにしている。



箇条書きとネスト

- ▶ 箇条書きはネスト（入れ子）構造にしても良い

別の種類の記号にする（区別できるようにする）

A) 箇条書きは行頭の位置を揃える。

a. 入れ子の行頭位置は、インデントをかける（行頭位置を右に下げる）

b. 入れ子の行頭記号は、別の種類にする

B) 2行目以降は1文字ぶら下げにする（1行目と2行目以降の開始位置を揃える）。

a. 別のリストの入れ子リストを作った場合、以前の入れ子で使った記号と同じ種類にする。

箇条書きとネスト

- ▶ 箇条書きはネスト（入れ子）構造にしても良い

同じレベルの入れ子は、同じ種類の記号にする

A) 箇条書きは行頭の位置を揃える。

- a. 入れ子の行頭位置は、インデントをかける（行頭位置を右に下げる）
- b. 入れ子の行頭記号は、別の種類にする

B) 2行目以降は1文字ぶら下げにする（1行目と2行目以降の開始位置を揃える）。

- a. 別のリストの入れ子リストを作った場合、以前の入れ子で使った記号と同じ種類にする。
- b. 入れ子で番号（順番）はリセットする

箇条書きとネスト

- ▶ 箇条書きはネスト（入れ子）構造にしても良い

入れ子毎に、番号（順番）はリセットする

- A) 箇条書きは行頭の位置を揃える。
 - a. 入れ子の行頭位置は、インデントをかける（行頭位置を右に下げる）
 - b. 入れ子の行頭記号は、別の種類にする
- B) 2行目以降は1文字ぶら下げにする（1行目と2行目以降の開始位置を揃える）。
 - a. 別のリストの入れ子リストを作った場合、以前の入れ子で使った記号と同じ種類にする。
 - b. 入れ子で番号（順番）はリセットする

箇条書きごとに番号を管理する

- ▶ 箇条書きの番号は、
 - ▶ 同じリスト内では通しで扱う
 - ▶ 別の箇条書きになったら、番号は引き継がない

A) 箇条書きは行頭の位置を揃える。

B) 2行目以降は1文字ぶら下げにする（1行目と2行目以降の開始位置を揃える）。

その他の箇条書き要件については、次のようになる。

A) 別の箇条書きになったら、番号がリセットする。

B) 連番の場合は、続いていると見なせるが、間に図や文章を入れる形式は推奨されない

LaTeXでの箇条書き

▶ 箇条書き用のコマンドは3種類

- ▶ itemize
- ▶ enumerate ← 番号付き箇条書きはこのコマンド
- ▶ description

追加

```
\begin{enumerate}[(i)]
  \item 箇条書き文章 1
  \item 箇条書き文章 2
\end{enumerate}
```

↓

```
(i) 箇条書き文章 1
(ii) 箇条書き文章 2
```

[]の中には、次の5種類 + 記号（括弧やドットなど）が設定可能。

- 1 : 1、2、3、4と増えていく
- i : i、ii、iii、ivと増えていく
- I : I、II、III、IVと増えていく
- a : a、b、c、dと増えていく
- A : A、B、C、Dと増えていく

a)としたい場合は、**[a]**。i.としたい場合は**[i.]**と入力する。